

東吾妻町

社協だより

第11号

平成28年11月20日発行

この広報誌は、赤い羽根募金の助成を受けて発行しています。

編集発行／社会福祉法人 東吾妻町社会福祉協議会
〒377-0802 東吾妻町大字川戸233番地(本所)
Tel0279-68-2772 FAX0279-68-0051
〒377-0303 東吾妻町大字新巻320番地4(東支所)
Tel0279-59-3266 FAX0279-59-3207

岩島地区

太田地区

地域福祉座談会

協議体の設置を目指して地区別に開催しました。写真はワークショップの様子（関連記事4ページ）

平成27年度 東吾妻町社会福祉協議会 資金収支計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	合計	
事業活動による収支	収入				
	会費収入	2,310,000	77,000	2,387,000	
	寄附金収入	37,640	0	37,640	
	経常経費補助金収入	39,416,650	100,000	39,516,650	
	受託金収入	5,021,670	5,308,000	10,329,670	
	事業収入	106,150	25,476,739	25,582,889	
	負担金収入	4,253,000	0	4,253,000	
	介護保険事業収入	115,589,054	0	115,589,054	
	障害福祉サービス等事業収入	3,312,150	0	3,312,150	
	受取利息配当金収入	6,876	0	6,876	
その他の収入	528,403	601	529,004		
	事業活動収入計(1)	170,581,593	30,962,340	201,543,933	
事業活動による収支	支出				
	人件費支出	134,581,756	3,304,949	137,886,705	
	事業費支出	20,482,982	24,695,704	45,178,686	
	事務費支出	8,255,810	2,008,035	10,263,845	
	共同募金配分金事業費	192,683	0	192,683	
	分担金支出	891,475	0	891,475	
	助成金支出	5,924,390	0	5,924,390	
	負担金支出	790,058	0	790,058	
その他の支出	577,060		577,060		
	事業活動支出計(2)	171,696,214	30,008,688	201,704,902	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,114,621	953,652	△ 160,969	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
		施設整備等収入計(4)	0	0	
	支出				
固定資産取得支出	911,740	0	911,740		
	施設整備等支出計(5)	911,740	0	911,740	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 911,740	0	△ 911,740	
その他の活動による収支	収入				
	基金積立資産取崩収入	48	0	48	
	事業区分間繰入金収入	247,800	0	247,800	
	その他の活動による収入	6,604,960	0	6,604,960	
		その他の活動収入計(7)	6,852,808	0	6,852,808
	支出				
基金積立資産支出	300,000	0	300,000		
事業区分間繰入金支出	0	247,800	247,800		
その他の活動による支出	7,103,600	0	7,103,600		
	その他の活動支出計(8)	7,403,600	247,800	7,651,400	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 550,792	△ 247,800	△ 798,592	
	予備費支出(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,577,153	705,852	△ 1,871,301	
	前期末支払資金残高(12)	30,518,014	1,679,580	32,197,594	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	27,940,861	2,385,432	30,326,293	

初の赤字決算

- 社会福祉事業は、地域福祉事業と介護保険等事業をまとめたものです。公益事業は、シルバー人材センター事業を実施しています。
- 法人全体では介護保険事業の業績が振るわず、資金収支差額(11)は初のマイナス187万円余となりました。これは利用者数の減少に加え、介護保険報酬の改定や算定基準の変更など、複数の要因が重なり厳しい結果となってしまいました。
- 本決算は、5月25日に開催した理事会及び評議員会で承認されております。

平成27年度 東吾妻町社会福祉協議会 事業報告

○地域福祉事業

・給食サービス事業

70歳以上の一人暮らしが対象

利用延べ人数 2,269人

・ふれあいサロン事業

地域住民による支え合いの場

実施箇所数は32か所、参加人員は延べ 1,891人

・住民参加型在宅福祉サービス事業

介護保険では対応困難なケースに対応

在宅・デイ・給食・移送の各サービス

延べ活動人員 1,495人

・福祉バス事業

交通弱者の移動手段の確保のため、無料バスを運行

運行日数 94日、利用者数延べ 392人

・要援護高齢者紙おむつ等給付事業

在宅で療養生活を送る方に紙おむつ等の購入補助

延べ受給者 358人、補助額 3,551,300円

○介護保険等事業

・訪問介護事業

訪問 延べ利用回数 6,526回、利用時間 5,350時間

予防 延べ利用回数 1,224回、利用時間 1,226時間

・訪問入浴介護事業

実利用人員 8人、延べ利用回数 182回

・居宅介護支援事業

介護計画 171人(実人員)、介護予防計画 42人(実人員)、認定調査 139人(延べ人員)

・通所介護事業

延べ利用人員 水仙 3,977人 福寿草 4,600人



デイサービスセンター水仙にかわいい子供たちが訪問していただきました

・障害者自立支援事業

訪問 延べ利用回数 716回、利用時間 917時間

・生きがい活動支援通所事業

延べ利用人員 水仙 58人

○シルバー人材センター事業

会員数74名、延べ実施件数 877件、延べ就業人員 7,123人、契約金額 25,476,739円

平成27年度 東吾妻町社会福祉協議会 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部			
	社会福祉事業	公益事業	合計
流動資産	40,076,333	4,686,735	44,763,068
固定資産	139,826,562	172,076	139,998,638
基本財産	41,992,168	0	41,992,168
その他の固定資産	97,834,394	172,076	98,006,470
資産の部合計	179,902,895	4,858,811	184,761,706
負 債 の 部			
流動負債	12,135,472	2,301,303	14,436,775
固定負債	92,166,180	0	92,166,180
負債の部合計	104,301,652	2,301,303	106,602,955
純 資 産 の 部			
基本金	2,000,000	0	2,000,000
基金	443,000	0	443,000
国庫補助金等特別積立金	694,168	0	694,168
その他の積立金	5,800,000	0	5,800,000
次期繰越活動増減差額	66,664,075	2,557,508	69,221,583
(うち当期活動増減差額)	△ 10,388,091	695,806	△ 9,692,285
純資産の部合計	75,601,243	2,557,508	78,158,751
負債及び純資産の合計	179,902,895	4,858,811	184,761,706

協議体の設置と生活支援コーディネーターの配置

協議体

活動当事者による検討組織

<役割>

- ①地域の現状把握
- ②地域の課題発見
- ③不足するサービスの創出
- ④生活支援コーディネーターの選出、支援

生活支援コーディネーター

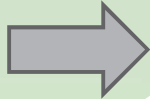
協議体で選出

<役割>

- ①資源開発
 - ・不足するサービスの創出
 - ・サービスの担い手の育成、支援
- ②ネットワークの構築
 - ・情報共有、連携体制の強化

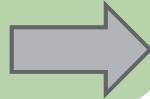
協議体設置

- ・生活支援サービスを取組む団体への呼びかけ



第1段階

- ・協議体で生活支援コーディネーターを選出



第2段階

- ・地域で生活支援サービス等を提供できる担い手の発掘や育成支援
- ・地域づくりや助け合い活動に取り組む団体とネットワーク構築

協議体の設置目的

生活支援等の体制整備に向けて、多様なサービス提供主体の参画が求められることから、市町村が主体となって、「定期的な情報の共有・連携強化の場」として設置することにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働によるサービスや資源開発等を推進します。

協議体の構成団体

- ・行政機関（市町村、地域包括支援センター等）
- ・生活支援コーディネーター
- ・地域の関係者（社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO、自治会、ボランティア団体、介護サービス事業者、商工団体、シルバー人材センター等）

生活支援コーディネーターの設置目的

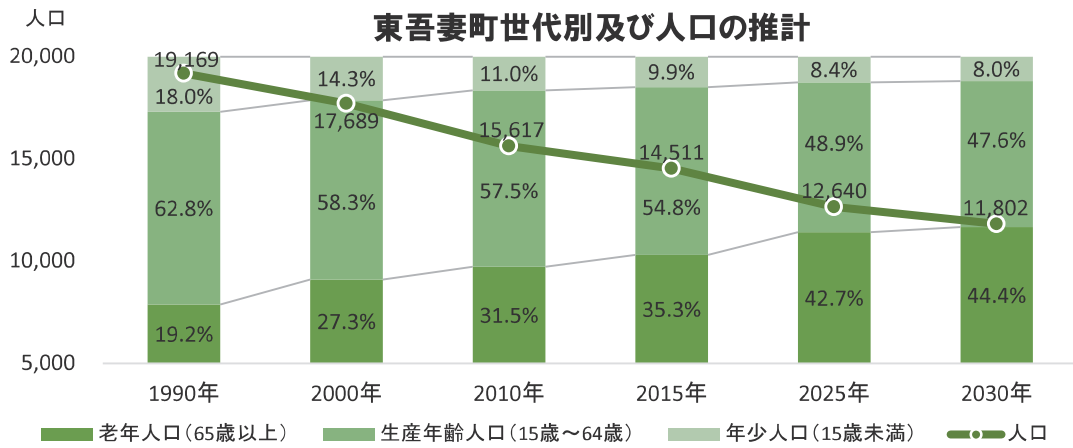
市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながらコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進します。

町と社協では、協議体の設置に向けて地域福祉座談会を9月から10月にかけて5地区で開催し、78名の参加をいただきました。座談会ではまず、町の高齢化の現状と予測（左のグラフ参照）を説明し、これからは元気な高齢者を増やし、住民同士の支え合いの必要性を訴えました。その後、目指す地域像についてワークショップを行いました。各グループからは、「高齢者における交通手段」や「近所付き合いの希薄化」「若者の地域離れ」なども気軽に交流できる場が欲しい」などの課題や理想について、具体的な意見が多く出されました。これらの課題等につきましては、今後設置される協議体で検討し、解決策を見出すこととなります。

協議体の

設置に向けて

国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。市町村にあつては、このケアシステムを構築すべく、早急な協議体の設置が求められています。



資料：東吾妻町ひと・まち・しごと創生長期人口ビジョンから引用

超高齢化社会を控え、地域福祉のあり方も変わろうとしている今、社協では、協議体の設置主体となる町と一体となり、新しい地域支援事業の推進を図ってまいります。

住民同士で支え合える地域づくりに向けて「福祉の地域づくり講座」を町コンベンションホールで開催しました。

群馬大学大学院理工学府の黒田真一教授を講師に招き「安心して暮らせるまちづくり」と題し基調講演を行いました。ボランティア実践者や関係団体、一般住民など85名が参加。黒田教授は、多様な地域課題がある中、近所付き合いや人間関係の希薄化に触れ「安心して住み続けるためには住民自身で世代を超えてだれもが参加できる場を創り上げていくことが重要である」と訴えました。

後半は、高齢者サロンに取組む



講師の黒田教授

福祉の地域づくり講座を開催



事例発表の3名

ただきました。

講座は新しい地域支援事業を見据え、町地域包括支援センターと共同で10月21日に開催しました。

「細谷げんきサロン」代表の小池あさ子氏、障害者サロン「すみれサロン」代表の青木恵子氏や買い物物代行事業を実施する町商工会事務局長後藤晃夫氏の3名から活動の一助となるよう、地域で取り組む活動について事例発表をい

○群馬県社会福祉協議会長表彰

- 茂木 とみ 様 (団体の役職員功労)
- 劔持 茂子 様 (同上)
- 石田 茂子 様 (同上)

○群馬県知事表彰

- 朝比奈文作 様 (民生委員・児童委員勤続章)

県社会福祉大会4名受賞

11月15日、平成28年度群馬県社会福祉大会が伊勢崎市文化会館で開催されました。本大会は、永年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々へ感謝の意を表し、だれもがともに支え合い、その人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現を目指して毎年開催しております。

東吾妻町関係では、左の4名が表彰されました。

平成 28 年度 会費納入状況

地区名	会員数	会費収入額
東 地区	628 世帯	314,000 円
太田 地区	785 世帯	392,500 円
原町 地区	1,335 世帯	667,500 円
岩島 地区	933 世帯	466,500 円
坂上 地区	881 世帯	440,500 円
合 計	4,562 世帯	2,281,000 円

社協会費のご協力 ありがとうございました

毎年7月をお願いしている社会福祉協議会の会費は、今年度も区長さんや班長さんにご協力をいただき、町民の皆様のご理解により左記のとおり多くの方々から会費をいただくことができました。

集まった会費は、主に地域福祉活動に活用してまいります。今後もご支援ご協力をお願い申し上げます。



南町いきいきサロンの皆さん

南町いきいきサロン

〈代表 関崎千代〉

今年デビューしたホヤホヤのサロンです。民生委員の方から補助金が出るという話を聞き、皆が集まれる会をしませんかと声を掛けてもらったのが始めたきっかけです。
南町は世帯・人口ともに少なく、高齢化も進んでいます。サロン活動は見守りも兼ねて皆が集まって、お茶のみやおしゃべりなどをし、健康寿命を延ばすために必要なことだと思っています。最近では、保健師さんに血圧を測ってもらったり、輪投げをしたりして楽しんでいます。次のサロンを心待ちにする参加者がいるようなサロンになれたらと思います。

サロンの紹介



いきいきサロン岡崎の皆さん

いきいきサロン岡崎

〈協力者 高橋和子〉

今年6月に発足しました。岡崎地区は広域のため、岡崎公民館と柏原集会所の2カ所で開催し、歩いて行けるサロンです。
民生委員とボランティアを中心に、区長にも協力してもらい、これまでに4回開催しています。ペットボトルで花入れを作り、持ち寄った花で生け花をしたり、健康体操や歌などで、昼食をさみ親睦を深めています。まだ始めたばかりのサロンですが、参加者一人ひとりが主役になってもらい、楽しく継続していきたいと思っています。



社会を明るくする運動

町長と東吾妻町地区実施委員会の皆さん

法務省主唱の「第66回社会を明るくする運動」が7月を強調月間として全国で展開されました。運動の一环として封筒募金をお願いしたところ4544世帯から92万7571円の募金をいただきました。ここに報告申し上げお礼とさせていただきます。
なお、募金は全額、吾妻保護区保護司会に納付され、犯罪や非行の防止、青少年の健全育成等を中心とする「社会を明るくする運動」や罪を犯した人の更生に活用されます。
募金の2割（18万5514円）が社会福祉協議会に交付され、ケース研究会議等の社会を明るくする運動の経費に充てさせていただきます。

みな様のあたたかいところに感謝申し上げます。

受付期間:平成28年4月～平成28年9月

敬称略、順不同

♥エコキャップ♥

寄附者	数量(kg)
東吾妻町婦人会	78.0
東吾妻町商工会女性部	23.0
日赤清掃メンバー	46.0
吾東婦人会	71.0
ふれあいサロン姉山	1.0
なかよし会	10.0
立川電器(株)	0.1
さかえ鮎	4.5
入沢 源太郎	3.6
竹淵 一美	4.5
大塚 美知子	0.7
浦野 やえ子	15.0
代田 幸	5.0
丸山 昭	10.5
岡田 初枝	3.5
久保田 正雄	16.5
橋爪 泉	3.5
渡辺 あさ子	2.0
小泉 正一	1.6
匿名	28.7
計	328.7

164人分のワケチンに



♥現金♥

寄附者	金額(円)
戸谷 幸子	20,000
原町おまつりカレンダー製作実行委員会	48,090
東吾妻町職工組合	2,400
計	70,490

♥プルトップ♥

寄附者	数量(個)
東吾妻町商工会女性部	4,920
吾東婦人会	13,500
東吾妻町婦人会	7,400
大塚 美知子	3,000
岡田 初枝	4,800
久保田 正雄	5,100
剣持 光明	970
匿名	1,750
計	41,440

♥その他♥

寄附者	物品名	数量
富沢 たつ江	広告・新聞紙ゴミ入れ	2,400個
橋爪 泉	花マグネット	10個
小池 艶枝	タオル	350枚
	お皿	20枚
中澤 金吾	アケビつる手提げ籠	43個
	アケビつる細工小物	28個
匿名	使用済図書カード	12kg

使用済図書カード等の受取は9月をもって終了しました。

♥使用済み切手♥

寄附者	数量(枚)
東吾妻町商工会	210
入沢 源太郎	25
東吾妻町職員組合青年女性部	1,900
東吾妻町婦人会	370
橋爪 泉	40
田村 秀子	79
佐藤 チエ子	210
計	2,834

熊本地震義援金 70,009円

4月16日に発生(本震)した熊本地震に対する義援金の受け付けは10月末で終了いたしました。総額は70,009円となりました。全額を群馬県共同基金会を通じて現地へお送りいたしました。一日も早い被災地の復興を心から願っております。

団体活動

グラウンドゴルフで 杉並区と交流

老人クラブ連合会 町では杉並区と様々な交流事業を行っておりますが、老人クラブではグラウンドゴルフ交流大会を行っております。今年度は10月21日(金)に杉並区下高井戸運動場で開催され、町内選手29名が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。競技終了後は区民集会所に移動し、成績発表と共に懇親会が行われました。和気あいあいと親睦を深め楽しい交流会となりました。



選手宣誓をする川名克己さん(杉並区)と片山愛子さん(東吾妻町)

知事表彰	白石好太郎 様	太田地区
	田中 和雄 様	太田地区
	桑原 賢一 様	原町地区
会長表彰	青木 菊男 様	太田地区
	石坂 勉 様	太田地区
	茂木 伊八 様	太田地区
	小池 初夫 様	原町地区
	宮崎 彰 様	原町地区

群馬県遺族の会創立70周年記念大会が9月14日、ベトナム文化ホールで開催されました。この大会は、県内の遺族の会会員が一堂に会し、遺族の会の礎を築いた諸先輩の遺業を讃えるとともに、遺族の会の運営に尽力された関係者に感謝の意を表することを目的に、5年ごとに開かれています。本町の5地区の遺族の会からは20名が参加、左の8名が受賞されました。

8名が受賞

遺族の会

70周年記念大会に参加



式典の様子

会員募集中

身体障害者更生会

町内に住む身体障害者手帳をお持ちの方ならどなたでも入会できます。年会費は500円です。障害があってもスポーツや旅行等の活動を積極的に行っている団体です。



メッセージを読み上げる小泉会長

手をつなぐ育成会や知的障害児・者に関わる諸団体は、毎年9月を「知的障害者福祉月間」として福祉パレードを行っています。今年も9月6日に第44回福祉パレードを郡内の町村を回って実施しました。差別のない、共に生きる社会の実現」のため、町長、議長、教育長、関係者、地域の皆様に広く呼びかけメッセージの伝達を行いました。

福祉パレードを実施

手をつなぐ育成会

グラウンドゴルフの県秋季交流大会(県グラウンドゴルフ協会主催)が10月21日、渋川市内で行われ、山本リヤウさん(松谷)が優勝されました。県内から1007人が24ホールの合計スコアを競いました。

山本さん優勝

母子寡婦会



参加された皆さん

ひとり親家庭の親子の絆を深めてもらおうと町母子寡婦会主催による親子ふれあい交流事業が、県民の日の10月28日に行われました。今年は22名の親子が参加し、東京ディズニーランドで楽しい一日を過ごしました。